テーマ

「医療から介護から地域保健から見た地域包括ケアのとこれから」

開催趣旨

　地域包括ケアシステムの構築については、厚生労働省からイメージ図も示され、各地域でのモデルも示されていますが、これから地域包括ケアに取り組もうとする自治体や病院にとっては、まだ、具体的なイメージをつかめていないのが現状ではないでしょうか。一方で、介護分野においては、市町村における地域支援事業の構築、包括支援センターでは、地域ケア会議の準備など、制度改正に追われているところではないでしょうか。

　地域包括ケアの在り方について、医療機関側から、介護施設側から、地域保健側からのそれぞれの立場からの、現状から考えられる、あるべき姿について語っていただき、参加者それぞれの職場での地域包括ケアシステムの構築を考える機会とします。

また、このセミナーでの議論を通して、自治労の「地域包括ケアシステム」研究会の政策提言につなげていきます。

講師（依頼予定先）

医療：愛媛大学　　櫃本真聿先生

介護：山都町　　　門川次子さん（前副議長）

保健：出雲保健所　中川昭生先生

タイムスケジュール

　９：００～鼎談

　　３人の方から３０～４０分、それぞれの立場からの情報提供をしていただき、そのあと、会場を含めた、意見交換をしていただきます。

１２：００～休憩

１３：００～グループワーク

　　午前中の鼎談を踏まえ、参加者の置かれたそれぞれの立場で、地域包括ケアにどう取り組むべきなのか、議論を深めていきます。

１５：００　終了